

3月4日「2025年度 幹総セ業務計画について」の追加提案を受ける！

1 内容

【1】定期検査工事計画

- ・E3系台車検査両数を7両→14両に変更。

形式	2025年度 検査両数		※()内は2024年度
	全般検査	台車検査	計
E2系	0 (0)	10 (50)	10 (50)
E3系	7 (10)	14 (21)	21 (31)
E5系	192 (201)	190 (200)	382 (401)
E6系	37 (65)	49 (56)	86 (121)
E7系	161 (172)	132 (180)	293 (352)
E8系	7 (0)	42 (7)	49 (0)
E926形	6 (0)	0 (0)	6 (0)
E956形	0 (10)	0 (0)	0 (0)
計	410 (448)	437 (514)	847 (962)

【2】車両計画

- ・E3系廃車計画両数を42両→35両に変更。※L65、L68、L69、L70、L71、L72

2 理由

E3系を改造して引き続き使用するため。

3 その他

提案内容の一部追加による箇所体制の変更はない。

【主な議論】

- ・会社プレス前に新幹線荷物輸送専用車両の報道が出たことについては、新幹線統括本部としてコントロールできない部分はあるものの、問題意識は持っている。
- ・今回は幹総セ業務計画の一部追加提案であり、新幹線荷物輸送に関する提案内容ではない。
- ・E3系 L70 編成を荷物輸送専用車両として改造する。⑪～⑰号車すべての座席を取払い、床面フラット化の工事を実施する。工事内容の詳細や工事施工時期、施工箇所は調整中だ。
- ・運行開始は秋頃。L70 編成をいつまで使用するかは、需要や利用状況を見ての判断になる。
- ・まずは東北筋での運用となる。基本はE5系との併結運転、最高速度は275km/hとなる。
- ・当面は山幹セで交検を施行する予定だ。仕業や交検を施行する上で、必要な教育は実施していく。また、必要に応じて整備標準(規程)も整備していく考えだ。
- ・全検入場 L67 編成は26年3月まで営業車両として使用するが、その後については未定。
- ・荷物の積降ろしをどこで誰が担うのかは検討中だ。幹車セで積降ろしを行う可能性もある。

**新幹線の「安全」再構築に向けて職場での議論を深め、
団体交渉を通じて疑問や課題解決に取り組もう！**